

丹沢大山総合調査公募型事業
丹沢大山の大量ゴミの実態調査・撤去作業およびフィールドマナーの普及啓発
特定非営利法人 みろく山の会

I. 丹沢大山の大量ゴミ撤去作業

1. 清掃登山

(1) 対象地点

2004年10月24日、03年に引き続き、大山追分16丁目の堆積ゴミを主として、広く大山山麓を対象に、7コースに分かれ清掃登山を実施しました。

少し肌寒く感じる1日でしたが、会員234人、行政7人、その他50人、合計291人の参加者がありました。収集したゴミの総量は351袋、1,323kgにのぼりました。これは袋数・重量とも昨年実施した清掃登山のほぼ1/2の量でした。



足の踏み場がない2003年清掃登山前の16丁目の様子

(2) 実施計画 (表1)

2003年に同じ場所のゴミ撤去を実施した経験と、ゴミ量推定値に基づき主として追分16丁目ゴミの完全撤去計画を立案しました。

① ゴミの収集・分別・袋詰めを参加者各人が行い、全量下社に運び降ろす。

従って準備山行は1回程度とする。

② 16丁目のゴミ堆積場所は狭いので、清掃コースごとの到着時間を分散する。

③ 下社における報告集会待ち時間をできるだけ短くする。

④ コースには健脚向きと容易な一般参加者向きとを加える。

その結果、大山16丁目を通る4コースおよび通らない3コースの合計7コースを設定しました。

(3) 大山追分16丁目の準備作業

清掃活動の計画準備のため、16丁目のゴミの量を調査しました。その結果おおよそ25m²に堆積しており厚いところは70cm程度あることがわかり、ゴミを含む土量は5.6m³程度と推定されました。また、この量は昨年処理した量と比較するとかなり少ないことも判明しました。

10月16日に清掃登山当日のゴミ収集作業を円滑化するため準備山行を行いました。主な作業は、資材の搬入・露出ゴミを中心としたゴミの収集・袋詰め作業および王冠など小さなゴミの分別作業エリアの整備でした。当会からの参加者は15名でしたが、通りがかりの登山者4名の熱心な協力があり、登山者の自然保護意識が高まっていることを強く感じました。

表1. 清掃登山実施計画

準備山行	10月16日(土) 予備日 10月17日(日)	
清掃登山	10月24日(日)	
	①コース	秦野駅ーヤビツ峠ー春岳山ー大山ー16丁目(清掃)ー大山阿夫利神社下社
	②コース	秦野駅ー蓑毛ー春岳山ー大山ー16丁目(清掃)ー大山阿夫利神社下社
	③コース	秦野駅ー東中学校前ー高取山ー蓑毛越ー大山阿夫利神社下社
	④コース	伊勢原駅ー日向薬師ー青年の家ー九十九曲ー見晴台ー大山ー16丁目(清掃)ー大山阿夫利神社下社
	⑤コース	伊勢原駅ー大山ケーブルバス停ー女坂ー大山阿夫利神社下社ー16丁目(清掃)ー大山阿夫利神社下社
	⑥コース	伊勢原駅ー大山ケーブルバス停ーケーブルー大山阿夫利神社下社ー見晴台ー大山阿夫利神社下社
⑦コース	伊勢原駅ー大山ケーブルバス停ー女坂ー大山阿夫利神社下社ー見晴台ー大山阿夫利神社下社	
整理植樹	10月30日(土) 予備日 10月31日(日)	

(4) 参加者募集

情報誌・リーダー会議による募集のほか、ホームページでのPR および総合調査の人材バンク登録者への呼びかけを行ないました。

人材バンクからの参加者は11名一般参加者54名の中には、最高齢者63歳、18歳の男子、中学生の女の子の参加もあり、来年も必ず参加しますと頼もしいかぎりでした。

(5) 後片付け・植樹山行 (2004年11月4日)

10月30日に予定されていましたが雨天のため延期され、10名でゴミ撤去跡地の整備を行いました。土の流出防止のため、ゴミ収集後の土を麻袋に詰め、傾斜部分に積んで土留めとしました。

(6) 成果

他団体や行政と協力して大山追分16丁目の堆積ゴミをほぼ撤去出来ました。今回でこの場所のゴミ撤去作業は完



10本の苗木が植樹された大量ゴミ撤去跡

了し、跡地にウツギなどの苗木10本の植樹を行い自然再生につなげる作業を実施しました。

この植樹は、表土の流失防止とゴミ投げ捨て防止に大きく寄与すると思われます。また一般登山道についても熱心な清掃活動が行われ多くのゴミを収集することができました。

(7) 今後の展開

しかし、今回も清掃コース沿いに古い投棄ゴミや最近捨てられたと思われるゴミが見られました。他のコースのゴミ収集量も約2割あり、一般登山道の清掃が必要なことは明白です。今後も清掃活動とゴミの持ち帰り・落し紙の持ち帰り普及・啓発運動の継続が必要と感じました。この運動をこれからも続けていきます。

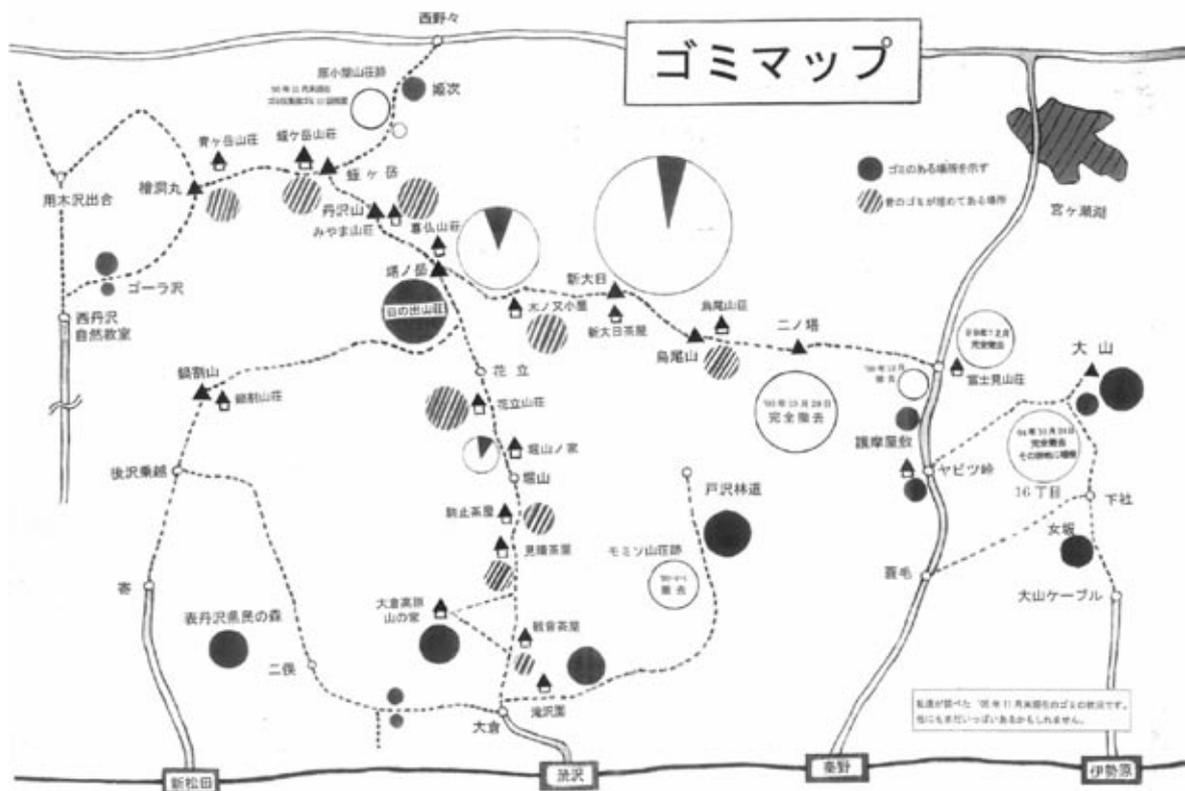
2. フィールドマナーの普及啓発

秦野駅、伊勢原駅、ヤビツ峠、大山ケーブル下バス停などで人材バンク参加者や一般参加者にも協力を得て、ゴミ持ち帰りと落し紙持ち帰りの普及啓発キャンペーンを行いました。

これは、ゴミ持ち帰りを呼びかけるパンフレット、ゴミを拾う軍手、拾ったゴミを入れるビニール袋、そして丹沢大山総合調査を広く県民に広報するため総合調査のパンフレットも合わせて配布しました。

3. 大量ゴミの実態調査 (ゴミマップ作成)

① 丹沢にはどのくらいのゴミが棄てられているか丹沢全域を歩き、その結果をゴミマップに表してみました (ゴミマップ参照)。



② また過去に大量廃棄ゴミを拾った箇所はどうなっているのか？追跡調査を試みました。

二ノ塔では、ゴミの撤去跡がどこであるかも分からないくらい草が生えて、かつて大量ゴミがあったところを覆い隠していました。今もこの場所にゴミがあったら草が生えることはなかったと思われるので、ゴミ撤去の大きな成果と思います。

新大日は北東に面しているため、日当たりも悪く鬱蒼としていました。また、大量のゴミが棄てられていたため、地面を何時見ることができるのかと思われたほどでした。ゴミは、急斜面に棄てられこれを拾うのは危険な作業でした。またビンの後はビニール袋に入ったお弁当箱のカラが出現、ビニール袋がちぎれ悪臭を放っていました。キケン、キタナイ、クサイと3Kの新大日。大量のゴミを回収したはずが、大雨や台風の後には、表土が流れまたゴミが顔を出す、悪循環が続きまして……。

ところが2005年6月に行くと、間伐の効果で木漏れ日がありクワガタソウやオドリコソウなど植物が恐る恐る顔を出していました。

③ 山岳環境問題への今後の取り組み

大量のゴミが棄てられていた場所は神奈川県民の水がめ、宮ヶ瀬湖へ注いでいる所です。

この大量のゴミの回収には、多くの人の力を必要としました。今回も当会会員234名をはじめ一般県民、地元大山の振興会の方たち、人材バンク、そして行政関係者の皆さんの協力があったからこそ画期的な成功を収めることができました。このことから一ボランティア団体だけではなく、いろいろな方たちと協力して、大切な丹沢大山の自然環境の保全に努めていきたいと考えています。

2000年から表丹沢に放棄された大量のゴミを回収して、表丹沢の大量のゴミは大体拾うことができました。

今回ご協力いただいた登山者の皆様、人材バンクからの参加者の皆様、地元振興会の皆様、いろいろお骨折りいただいた行政の皆様には心からお礼申し上げます。

みろく山の会では2006年から登山道整備と清掃登山をあわせて行っています。

今後とも皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

A. 二ノ塔



大量のゴミに覆われていた二ノ塔



日当たりがよく、ゴミの跡も分からないほど植生が回復

B. 新大日



新大日の凄まじい大量ゴミ



04年11月23日



2005年6月14日 間伐し、光が差し込むようになった。



クワガタソウも咲き出しオドリコソウも葉を広げはじめた。

C. オバケ沢



2000年大量のゴミを回収した。



2004年11月23日 90%きれいになっている状態のオバケ沢、ゴミは少々ある程度。



2005年6月14日 台風や大雨で表土が流され、また出てきた古いゴミ。



その他のゴミ

A. 唐沢峠



工事を請け負った業者が放置したのか？ これほど大型のゴミは、人力では運び下ろすことはできない。運び入れた業者や行政は、工事終了後大型ゴミとして放置することのないよう、きちんと対応してほしい。

B. 用木沢



台風で流されたのか？



こんなにきれいな場所なのだが、工事に使用したと思われる鉄骨の残骸。

C. ゴーラ沢小屋跡



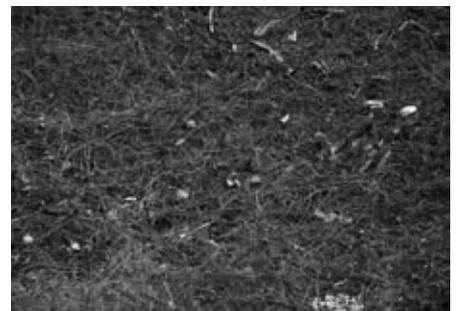
ここもやはり昔の小屋があった跡，どこの山小屋跡もゴミが放置されたままだ。

D. 丹沢山への主脈縦走路



塔ノ岳から丹沢山へ向かう縦走路，古い昔のゴミが顔を出していた。

E. 神ノ川乗越



F. 原小屋平小屋跡



原小屋の跡のゴミ。これも少しずつ登山者がザックに入れて下ろさなくてははいけないのかも知れない。2005年11月と12月11日

G. 塔ノ岳日の出山荘



極めつけは超大型ゴミとしかいいようのない日の出山荘，特別保護地区の中にこんな建物があるなんて……